

内科学系（後期研修医・大学院生）

目次

- a はじめに
- b 専修医・大学院生の募集
- c 日本大学医学部内科学系の各分野と分野主任の紹介
- d 日本大学医学部内科学系の沿革
- e 令和5年度日本大学医学部内科学系 後期研修医 募集要項
- f 問い合わせ先

a はじめに

- ・ 内科学全般を学び、さらに内科専門領域の知識・技能を修得することで、臨床や研究に精通した医師の育成を目的としています。
- ・ 「内科学系」は「呼吸器内科学分野、循環器内科学分野、消化器肝臓内科学分野、神経内科学分野、血液膠原病内科学分野、腎臓高血圧内分泌内科学分野、糖尿病代謝内科学分野、総合診療学分野」の8分野から構成されています。
- ・ 「3年目医師」は「内科学系各分野のローテート研修」を行うので、日本内科学会専門医受験資格に必要十分な症例を経験することができます。
- ・ 「3年目以外の医師」は各人の研修状況により異なります。詳細は本ガイドブックの内科学系各分野のページを参照して下さい。

b 専修医・大学院生の募集

① 「3年目医師」（今年度初期臨床研修を修了される方）

- 内科の後期臨床研修として、内科学全般を学ぶために初期臨床研修修了後の3年間は内科学系各分野のローテート研修を行います。
- 具体的には総合内科と各人が初期臨床研修において未履修の内科学系各分野を中心としたローテート研修を行います。
- 専門医受験資格に必要十分な症例を経験することができます。
- 週1回関連病院の外勤日があります。
- 5年目（内科専攻3年目）に連携施設で1年間研修します（4年目に研修を早めるのも可）。

*** 2021年度より入局先を決めずにローテート研修をすることはできません。
入局先を決めてからご応募ください。**

なお、大学院への入学時期については入局先と相談して決めてください。

- 問い合わせ先は下記の入局希望の分野担当者になります。
（本ガイドブック内科学系各分野問い合わせ先も御参照下さい）
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 TEL：03-3972-8111

分野名	担当者 (医局長)	内線 (板橋病院)	連絡先
呼吸器内科学分野	林 健太郎	2402	hayashi.kentaro@nihon-u.ac.jp
循環器内科学分野	北 野 大 輔	2412	kitano.daisuke@nihon-u.ac.jp
消化器肝臓内科学分野	松 本 直 樹	2424	matsumoto.naoki@nihon-u.ac.jp
神経内科学分野	石 原 正 樹	2602	ishihara.masaki@nihon-u.ac.jp
血液膠原病内科学分野	長 澤 洋 介	2403	nagasawa.yosuke@nihon-u.ac.jp
腎臓高血圧内分泌内科学分野	丸 山 高 史	2415	maruyama.takashi@nihon-u.ac.jp
糖尿病代謝内科学分野	三 枝 太 郎	2421	saigusa.taro@nihon-u.ac.jp
総合内科学分野	楡 井 和 重	2345	nirei.kazushige@nihon-u.ac.jp

② 「3年目以外の医師」

- 「3年目以外の医師」（卒業年度は問いません）は各人の研修状況により異なります。各分野の担当者までお問い合わせ下さい。
（① [1] および本ガイドブック内科学系各分野問い合わせ先をご参照下さい）

③ 「大学院生」

- 研究者養成を目標にした4年制の大学院コース（従来型）と学位・専門医の取得を目指した4年制の「高度専門医養成コース」（横断型）があります。
- 大学院入学の時期については各人の研修状況によるため、入局先の医局長とまずご相談下さい。
- ① 募集：令和4年8月下旬を予定
- ② 願書の請求と送付先：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1
日本大学医学部教務課 TEL：03-3972-8111、（内）2121
* 詳細は入局希望の分野担当者（医局長）に連絡下さい。

c 日本大学医学部内科学系の各分野と分野主任の紹介

詳細は本ガイドブックの内科学系各分野のページを参照してください。

内科学系	主任 権 寧博 教授
1) 呼吸器内科学分野	主任 権 寧博 教授
2) 循環器内科学分野	主任 奥村 恭男 教授
3) 消化器肝臓内科学分野	主任 木暮 宏史 教授
4) 脳神経内科学分野	主任 中嶋 秀人 教授
5) 血液膠原病内科学分野	主任 中村 英樹 教授
6) 腎臓高血圧内分泌内科学分野	主任 阿部 雅紀 教授
7) 糖尿病代謝内科学分野	主任 石原 寿光 教授
8) 総合診療学分野	主任 高山 忠輝 教授

d 日本大学医学部内科学系の沿革

従来、日本大学医学部の内科学講座は、第1内科学講座、第2内科学講座、第3内科学講座、神経内科学講座の4講座に分かれていましたが、平成13年4月からこの4講座が集まって大講座制としての内科学講座ができました。平成16年4月にこの内科学講座が再編され、呼吸器内科部門、循環器内科部門、消化器肝臓内科部門、神経内科部門、血液膠原病内科部門、腎臓高血圧内分泌内科部門、糖尿病代謝内科部門の7部門から内科学講座が構成されることになりました。現在、本内科学講座は、板橋病院、駿河台病院の付属病院の診療を担当しています。また、平成18年度には総合内科の設置が決まり、平成19年7月から「総合診療科」の研修プログラムが当医学部附属板橋病院で始まっています。平成19年4月から「講座制」が無くなったため、内科学講座は「内科学系」に入っています。この「内科学系」の中には、「呼吸器内科学分野、循環器内科学分野、消化器肝臓内科学分野、神経内科学分野、血液膠原病内科学分野、腎臓高血圧内分泌内科学分野、糖尿病代謝内科学分野、総合診療学分野」が含まれています。

e 内科専門研修プログラム概要

新内科専門医制度に対応したプログラムを用意しております。内科専門医として、(1) 高い倫理観を持ち、(2) 最新の標準的医療を実践し、(3) 安全な医療を心がけ、(4) プロフェッショナルリズムに基づく患者中心の医療を提供し、臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的な内科診療を提供すると同時にチーム医療を円滑に運営できる能力を修得するための研修を行います。

内科専門医は2年間の初期臨床研修後に設けられた3年間の専門研修（専攻医研修）で育成されます。研修期間3年間は基幹施設2年間と連携施設1年間からなります。連携病院では原則として1年間、立場や地域における役割の異なる医療機関で研修し、地域において内科専門医に求められる役割を実践します。

Subspecialty 研修について

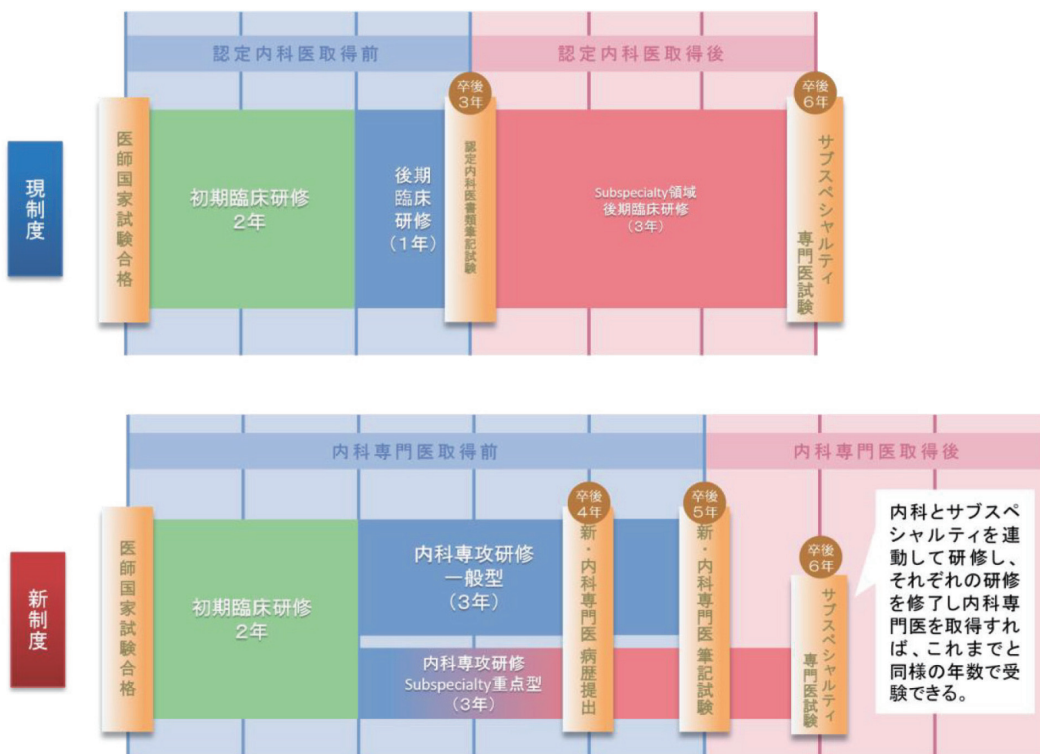
2021年度より将来のSubspecialtyを決めてから内科専門研修を開始していただきます。これにより入局先のメンターと相談して研修プログラムを各人の希望に応じて作り上げていきます。Subspecialtyを重視したプログラムとすることも内科全般を満遍なく学ぶことを重視したプログラムとすることも可能です。

大学院への進学について

大学院への進学は各人の研修状況によるため、入局先の医局長にご相談下さい。

f 研修コース紹介

新内科専門医制度では内科学会により大まかな履修は以下の図のようになっております。



「連動研修(並行研修)」: 内科専門研修にあたっては、その研修期間中にサブスペシャリティ領域を研修する状況があるが、この研修を基本領域のみの専門研

医師経験年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (年次)
初期研修 初期研修中の症例は80症例まで登録が可能	初期研修				修了認定	専門医試験			
内科標準タイプ 特定診療科に偏らず、満遍なく内科研修を行なう			内科専門研修				サブスペシャリティ 専門研修		修了認定 専門医試験
サブスペシャリティ重点研修タイプ サブスペシャリティの研修に比重を置く期間を設ける		(例) 1年型	※ サブスペ 専門研修 (合計1年相当) 開始・終了時期、継続性は問わない				サブスペシャリティ 専門研修	修了認定 専門医試験	
3年間で内科専門研修を修了することが必須要件		(例) 2年型	※ サブスペシャリティ 専門研修 (合計2年相当) 開始・終了時期、継続性は問わない				サブスペ 専門研修	修了認定 専門医試験	

※サブスペシャリティ研修の開始時期は自由

【プログラム設計の研修年限の自由度について】

内科学会ホームページより抜粋

日本大学板橋病院では、総合診療科、消化器肝臓内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、腎臓高血圧内分泌内科・腎臓グループ、腎臓高血圧内分泌内科・内分泌グループ、血液膠原病・内科血液グループ、血液膠原病内科・膠原病グループ、呼吸器内科、脳神経内科の10個のブロックから選択してローテーションします。

- ・ 3年間の内科専門研修のいずれかの時期に、総合診療科に3ヶ月間勤務し、プライマリケア当直研修を含む研修を行います。“救急”の症例は総合診療科での研修中に多く研修できますし、救命救急センターと連携して経験することもできます。もちろん各科でも十分経験できます。
- ・ 疾患領域ブロックの研修期間は個人の履修症例数や提出病歴要約の数を考慮して、必要に応じてSubspecialty研修を長く取れるように個別に決めています。
- ・ “アレルギー”の症例は呼吸器内科、膠原病グループ、総合診療科で経験することができます。
- ・ “感染症”の症例は総合診療科および各科で経験することができます。

大学での身分は専修医あるいは大学院の規定に則ります。勤務時間、休暇、当直、給与などの勤務条件に関しては就業環境を整えることを重視し、調整しています。労働基準法を遵守し、日本大学板橋病院の「専修医就業規則及び給与規則」に従います。専攻医の心身の健康維持の配慮については各施設の研修委員会と労働安全衛生委員会で管理します。とくに精神衛生上の問題点が疑われる場合は臨床心理士によるカウンセリングを行います。

g 令和5年度日本大学医学部内科学系 専修医 募集要項

〔「3年目医師」を対象とする〕

1. 目的

内科領域の良き臨床医の育成を目指し、さらに専門領域の知識・技能の修得を目的とする。

2. 年 限

日本大学医学部専修医の内規に従い、1年ごとに更新する。

3. 内科学系の構成

呼吸器内科学分野、循環器内科学分野、消化器肝臓内科学分野、脳神経内科学分野、血液膠原病内科学分野、腎臓高血圧内分泌内科学分野、糖尿病代謝内科学分野、総合診療学分野

4. 研修内容

初期臨床研修終了後に、

[1] 内科学系各分野に入局し所属する。

[2] 内科学系各分野に入局し横断型大学院に入学。

所属は上記のいずれかひとつを選択し、総合診療科と内科学系各分野をローテーションする。

時間的に余裕のあるときは希望分野での研修も可能である。

5. 応募資格

令和5年3月末で初期臨床研修制度修了見込みの者。

6. 出願手続

■受付

内科学系各分野の医局長まで。

■提出書類

- 1) 専修医応募願書（指定書式） 別紙資料 1)
 - 2) 履歴書（指定書式） 別紙資料 2)
（本学部臨床研修プログラム履修者は不要）
 - 3) 医師免許証（写） A4 版に縮小
（本学部臨床研修プログラム履修者は不要）
 - 4) 研修修了証明書もしくは研修修了見込み証明書
（本学部臨床研修プログラム履修者は不要）
 - 5) 推薦状（A4 版 1 枚で書式指定なし。本学部臨床研修プログラム履修者は不要）
- ※提出された応募書類に記載してある個人情報を選考に限り使用する。

■応募期間

上記受付に“専修医応募書類”と明示し、直接提出するか簡易書留で郵送する。

受付期間：令和 4 年 8 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日まで。（左記消印有効）

（※今年度の内科専門医制度の運用により変更の可能性があります。最新情報はホームページをご参照下さい。）

7. 選考方法：面接など
8. 合格発表：本人に通知する。
9. 採用日：原則として令和 5 年 4 月 1 日（現研修状況により応相談）
10. 身分：原則として日本大学医学部内科学系の専修医。
11. 待遇：日本大学医学部の専修医内規に従う。私学共済加入など
12. 勤務：週 6 日（土曜日は半日）勤務で、うち週 1 日は本学部の関連病院での勤務ができる。
その他必要な当直を行なう。
13. 勤務施設：日本大学医学部附属板橋病院
14. 連絡先：
 - 〒 173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 TEL：03-3972-8111（代）
 - 日本大学医学部内科学系
 - 代表幹事 平沼 久人（呼吸器内科学分野）内線 2402

問い合わせ先

下記まで、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

〒 173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1
TEL：03-3972-8111（内線 2402） FAX：03-3972-2893

内科学系 代表幹事
（呼吸器内科学分野）
平沼 久人

別紙資料 1)

令和 6 年度
 日本大学医学部内科学系後期研修医応募願書

令和 年 月 日 現在

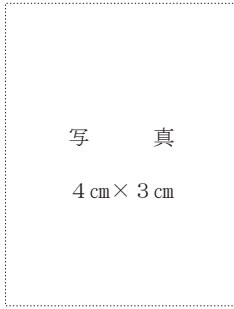
ふりがな 氏 名 生年月日	昭和／平成 年 月 日（満 才） 男・女
現住所	〒
電話番号	携帯電話番号：
Eメール	携帯メール：
志望の動機	
初期研修での内 科研修履歴（例： 神経内科1ヶ月、消 化器内科2ヶ月… などのように記入 ください）	

別紙資料2)

No. _____

履 歴 書

令和 年 月 日発行



ふりがな 氏 名				ふりがな 旧 姓	理由 改姓年月日 年 月 日
生年月日 昭和 平成 年 月 日 生				満年齢 才	性別 男・女
ふりがな 現 住 所				電 話	
〒 () 方					

年号	年	月	日	記 事（学歴・免許・職歴・賞罰）	発令機関